

グローバル・アロケーション・ファンド

毎月決算・為替ヘッジなしコース（目標払出し型）

<愛称：世界街道>

追加型投信／内外／資産複合

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、ブラックロック・グローバル・アロケーション・ファンドの運用成果を反映する指数連動債に投資し、世界各国の株式や債券などさまざまな資産への分散投資で得られる収益の獲得と、分配実施による定期的な運用資産の一部払い出しを目的として運用を行います。当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2022年1月28日～2022年7月27日

第109期	決算日：2022年2月28日	
第110期	決算日：2022年3月28日	
第111期	決算日：2022年4月27日	
第112期	決算日：2022年5月27日	
第113期	決算日：2022年6月27日	
第114期	決算日：2022年7月27日	
第114期末 (2022年7月27日)	基準価額	4,569円
	純資産総額	18,651百万円
第109期～ 第114期	騰落率	8.6%
	分配金合計	354円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

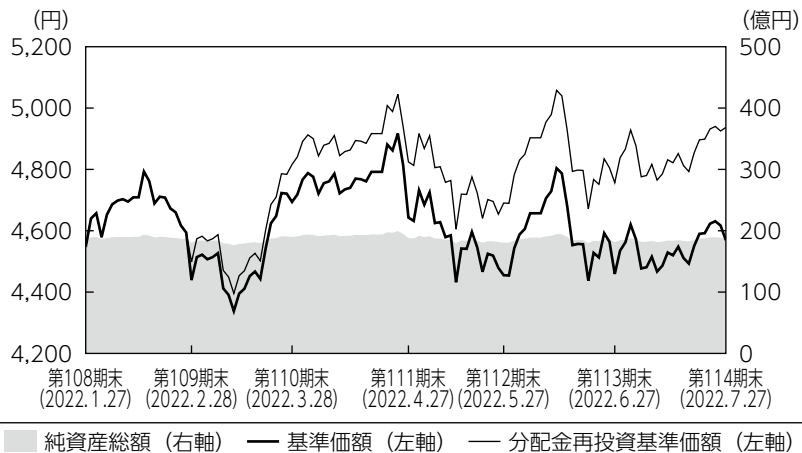
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第109期首： 4,547円
 第114期末： 4,569円
 (既払分配金354円)
 騰落率： 8.6%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

ブラックロック・グローバル・ファンズ グローバル・アロケーション・ファンド (以下「参照ファンド」) の運用成果を反映する仕組みの債券に投資し、世界各国の様々な資産への分散投資で得られる収益の獲得と、毎月の分配実施による定期的な投資信託財産の一部払い出しを目的として運用を行いました。当作成期間の基準価額は参照ファンドの下落を受けたものの、大幅な円安を受けて上昇しました。

1 万口当たりの費用明細

項目	第109期～第114期		項目の概要
	(2022年1月28日～2022年7月27日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	26円	0.560%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は4,614円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(8)	(0.163)	
(販売会社)	(18)	(0.381)	
(受託会社)	(1)	(0.016)	
(b) その他費用	0	0.009	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(保管費用)	(0)	(0.008)	
(監査費用)	(0)	(0.001)	
合計	26	0.569	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

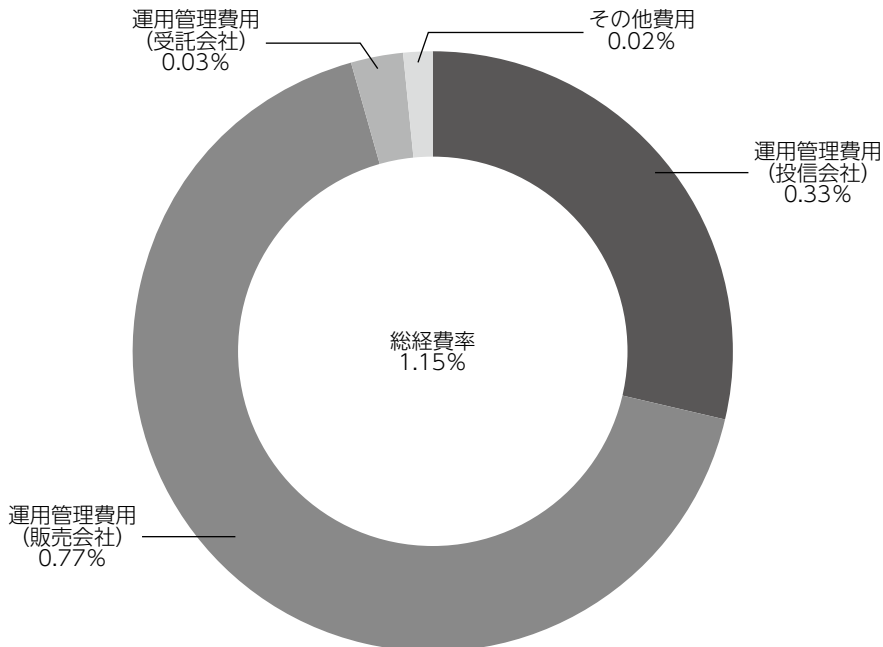
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.15%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

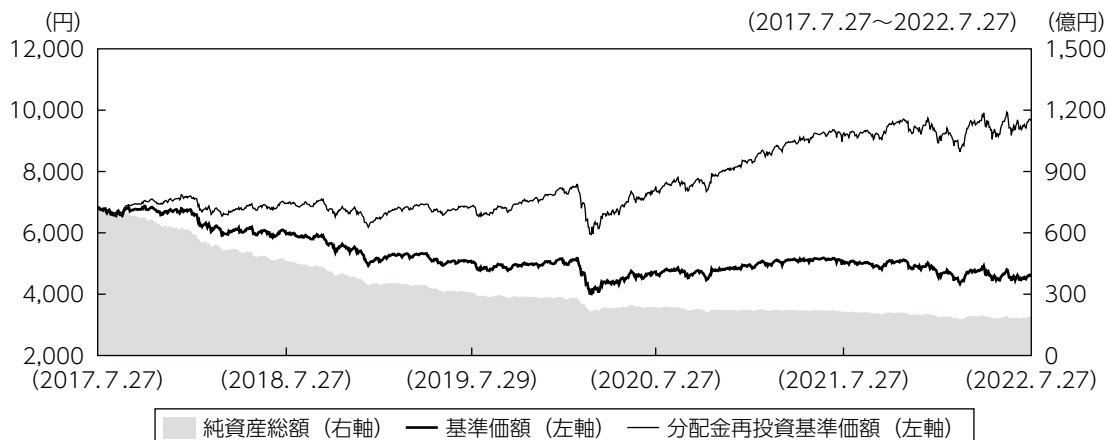
(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

(注5) 上記とは別に、次の費用を間接的に負担しております。

指数手数料	年率0.08% (注) 参照指数は年率0.08%が指数手数料(指数算出費用)として日々控除された形で算出されます。
参照ファンド	参照ファンドの純資産総額に対して年率0.75% (注) 参照ファンドの投資運用会社に対する運用等の報酬です。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2017年7月27日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2017年7月27日 期首	2018年7月27日 決算日	2019年7月29日 決算日	2020年7月27日 決算日	2021年7月27日 決算日	2022年7月27日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	6,796	5,961	5,034	4,736	5,053	4,569
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	984	828	714	708	702
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	2.4	△1.4	9.4	23.2	4.9
参照指数の騰落率 (%)	—	3.7	△0.1	11.1	25.3	6.5
純資産総額 (百万円)	73,708	46,026	30,716	23,855	21,490	18,651

- (注1) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。参照指数はグローバル・アロケーション・ファンド・インデックス (為替ヘッジなし) です。参照指数については後掲の「当ファンドの参照指数について」をご参照ください。
- (注2) 参照指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています (以下同じ)。

投資環境

世界主要国の株式市場は、まちまちな展開となりました。好調な企業業績を背景に堅調に始まったものの、インフレ率の上昇加速に伴う米長期金利上昇や、ロシアがウクライナ侵攻を開始し、3月上旬にかけて下落傾向となりました。その後、ウクライナ戦争の停戦協議の進展期待から反発する場面があったものの、各国中央銀行による金融引き締めや中国のロックダウンなどから、欧米株式市場は軟調な動きとなりました。一方、国内株式市場は円安進行を好感し、堅調に推移しました。

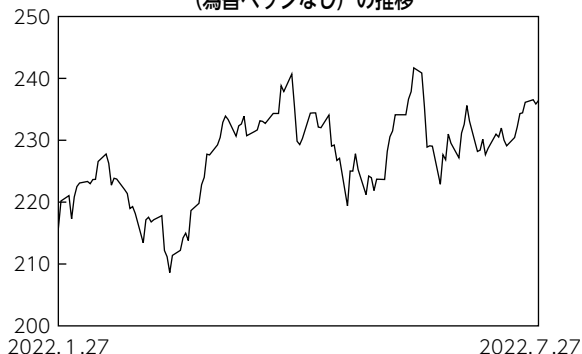
世界主要国の債券市場は、一般的に下落（金利上昇）傾向となりました。米国金利は、インフレ率の上昇加速によりF R B（米連邦準備理事会）の利上げが想定以上の幅になるとの見方から上昇しました。3月上旬には、対ロシア制裁を巡る懸念などから低下しました。その後、堅調な米雇用統計や米C P Iの上振れを背景にF R Bの大幅利上げ観測から上昇した後、景気減速懸念が浮上し、上昇幅は縮小しました。欧州、国内金利も米国金利と同様な動きとなりました。

為替市場では円は対米ドル、対ユーロで下落しました。日銀が金融緩和政策を維持する中で米経済の回復期待や、米インフレ圧力の高まりを示す指標を受けて、金融政策正常化の観測が強まったことから円安・米ドル高が進展しました。ユーロは、米欧の景況感の格差や、ウクライナ情勢の緊迫化によるエネルギー価格の急騰が欧州景気の重石となる可能性が意識されたことから米ドルに対して軟調に推移し、円に対しては上昇しました。

ポートフォリオについて

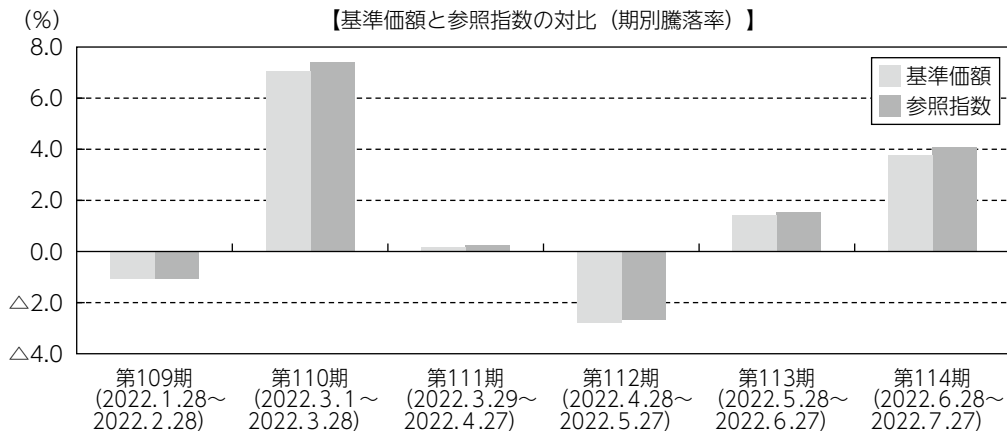
ブラックロック・グローバル・ファンズ グローバル・アロケーション・ファンドの運用成果を反映する仕組み債券である「グローバル・アロケーション・ファンド・インデックス（為替ヘッジなし）連動債A」に投資を行い、当作成期間を通じて高位に組み入れました。

グローバル・アロケーション・ファンド・インデックス
（為替ヘッジなし）の推移



ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。
グラフは、基準価額と参照指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

収益分配金につきましては所定の率をグローバル・アロケーション・ファンド・インデックス（為替ヘッジなし）連動債Aの価格に乗じて計算される利息に基づく額を払い出すことを目標とし、第109期から第114期までそれぞれ1万口当たり59円を分配しました。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期	第114期
	2022年1月28日 ～2022年2月28日	2022年3月1日 ～2022年3月28日	2022年3月29日 ～2022年4月27日	2022年4月28日 ～2022年5月27日	2022年5月28日 ～2022年6月27日	2022年6月28日 ～2022年7月27日
当期分配金（税引前）	59円	59円	59円	59円	59円	59円
対基準価額比率	1.31%	1.24%	1.25%	1.31%	1.31%	1.27%
当期の収益	59円	59円	59円	59円	59円	59円
当期の収益以外	-円	-円	-円	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	2,492円	2,504円	2,512円	2,520円	2,528円	2,539円

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

引き続き「グローバル・アロケーション・ファンド・インデックス（為替ヘッジなし）連動債A」の組入比率を高位に維持し、世界各国の株式や債券などさまざまな資産への分散投資で得られる収益の獲得を目指します。

お知らせ

約款変更のお知らせ

■信託期間を延長し、償還日を2028年1月27日とする変更を行いました。

(2022年4月28日)

その他のお知らせ

■信託期間を2028年1月27日に延長したことに伴い、主要投資対象である指数連動債の満期償還日の延長および一部仕様変更を行いました。仕様変更については、ファンドの信託期間の延長後、指数連動債にかかるコスト上昇を避けるため、連動対象指数の算出者^{*}の事前申出によって債券の残存期間が短縮化できる条件が追加するもので、当ファンドの実質的な運用内容に変更はありません。

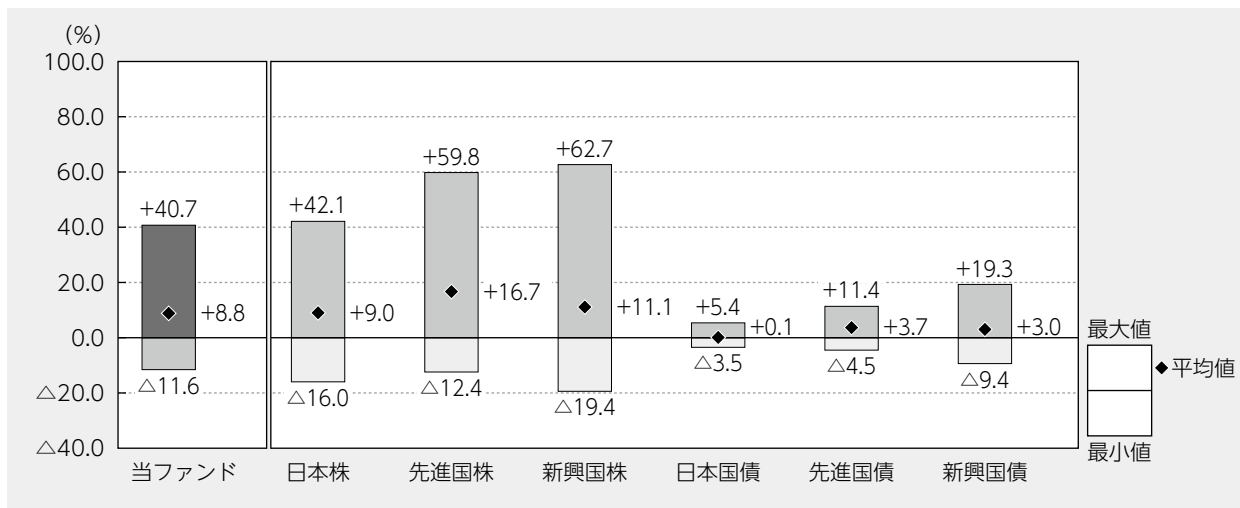
※UBS銀行ロンドン支店を指します。

(2022年4月28日)

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2013年2月8日から2028年1月27日まで
運用方針	ブラックロック・グローバル・ファンズ グローバル・アロケーション・ファンド（以下「参照ファンド」）の運用成果を反映する仕組みの債券に投資し、世界各国の様々な資産への分散投資で得られる収益の獲得と、毎月の分配実施（実質的な投資元本の払い戻しにより一部または全部の額を充当することができます。）による定期的な投資信託財産の一部払い出しを目的として運用を行います。
主要投資対象	内外の公社債を主要投資対象とします。
運用方法	原則として、グローバル・アロケーション・ファンド・インデックス（為替ヘッジなし）連動債A（以下「指数連動債」）を高位に組み入れます。指数連動債は、参照ファンドの運用成果に基づき算出される指数（以下「参照指数」）の値動きを反映する仕組みを有し、参照ファンド等を担保資産として特別目的会社により発行されるものです。指数連動債の利金は、参照指数の投資収益に基づくものではなく、原則として1年毎に到来する特定日の指数連動債の価格に所定の率を乗じて得た額として定期的に更新されます。
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき収益の分配（実質的に投資元本の払い戻しとなる分配を含みます。以下同じ。）を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②分配金額は、原則として、当ファンドの決算日の直前に支払われた指数連動債の利金に基づく額を払い出すことを目標に委託者が決定します。当該利金は、参照指数の投資収益に基づくものではなく、原則として1年毎に到来する特定日の指数連動債の価格に所定の率を乗じて得た額に基づいて計算されます。結果として、分配金は実質的な投資元本の払い戻しにより一部または全部の額が充当されることがあります。</p> <p>③留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。</p>

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2017年7月～2022年6月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容 (2022年7月27日現在)

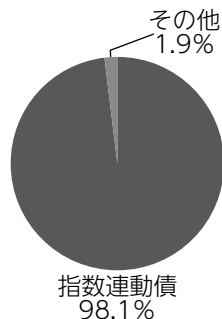
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
グローバル・アロケーション・ファンド・インデックス (為替ヘッジなし) 連動債A	日本・円	98.1%
—	—	—
—	—	—
—	—	—
—	—	—
—	—	—
—	—	—
—	—	—
—	—	—
—	—	—
組入銘柄数	1 銘柄	

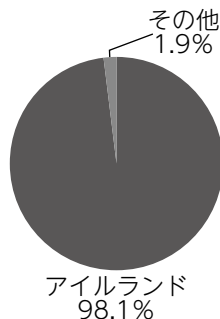
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載されています。

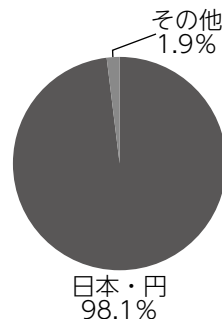
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注3) 国別配分につきましては発行国 (地域) で表示しております。

純資産等

項目	第109期末 2022年2月28日	第110期末 2022年3月28日	第111期末 2022年4月27日	第112期末 2022年5月27日	第113期末 2022年6月27日	第114期末 2022年7月27日
純資産総額	18,050,796,390円	18,986,657,984円	18,807,778,359円	18,059,360,096円	18,136,701,708円	18,651,942,370円
受益権総口数	40,664,923,497口	40,448,605,456口	40,512,118,551口	40,534,939,960口	40,674,810,242口	40,824,546,803口
1万口当たり基準価額	4,439円	4,694円	4,643円	4,455円	4,459円	4,569円

(注) 当作成期間 (第109期～第114期) 中における追加設定元本額は1,936,648,046円、同解約元本額は1,934,741,132円です。

<当ファンドの参照指数について>

●グローバル・アロケーション・ファンド・インデックス

世界各国の株式や債券などに投資して、トータルリターンを最大化を目指すルクセンブルグ籍外国投資法人「ブラックロック・グローバル・ファンズ グローバル・アロケーション・ファンド」クラス I 米ドル建投資証券のパフォーマンスを反映する円ベースの指数です。同指数には為替取引（米ドル売り/円買い）を行わない指数と行う指数があります。UBS銀行ロンドン支店が指数の算出・公表を行います。

UBS銀行ロンドン支店は参照ファンドおよびその投資対象資産への投資の妥当性などについて何ら判断を行わず、参照指数のパフォーマンスにも責任を負うものではありません。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

(このページは白紙です)

